

新小山市市民病院ニュースレター Shin-Oyama City Hospital News letter No.3

<http://www.hospital-oyama.jp/>

〒323-0028 栃木県小山市若木町1-1-5 ☎0285-21-3800 (代表)

病院長挨拶



Win-winの関係

新年、明けましておめでとうございます。昨年4月に病院の経営形態を市立から地方独立行政法人へ、そして名称も小山市市民病院から新小山市市民病院へと変えて再出発し、最初の新年を迎えました。この間、様々な病院改革や経営改善に取り組んできました。その成果は、次第に現われるものと期待しています。

新病院建設については、この3月末に工事を開始し、平成28年1月に開院の予定です。なお、医師会や夜間・休日急患センターが入居する予定の隣接する(仮)健康医療介護総合支援センターは、一足早く今月起工式を行います。

さて、今年4月には、2025年を視野に入れた診療報酬改定があり、いよいよ、各々の病院は、その役割をしっかりと見極めて、その目標に向かって努力しないと容赦なく場外に振り落とされてしまいます。幸いにも新小山市市民病院は遅まきながら4月からDPC対象病院となります。どんな患者さんを入院させ、どんな治療を行なっているか、DPCのもとではデータがはっきり出てしまいます。小山地区医師会の全面的なご支援を得て、毎月開催されている「小山市の地域完結型医療を育てる会」や本ニュースレターなどを通して、新小山市市民病院が現在どのような診療を行い、また今後目指そうとしているのかを医師会員の皆様に広く知っていただきたいと思います。そして、新小山市市民病院が真に地域の中核病院として機能できるためには、我々自身の診療能力や“病院力”を高める努力を継続しつつ、地区医師会との良好なwin-winの関係を築いていく所存です。

本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成26年1月

理事長・病院長 島田和幸



主なトピックス

●第2回 小山市市民病院ふれあい祭り開催(平成25年10月20日)

地域の皆様とふれあう機会、病院を良く知っていただく機会として企画しました「第2回新小山市市民病院ふれあい祭り」。あいにくのお天気でしたが、寒さに負けず、お子様連れのご家族など、約1,000人もの人々が訪れ、盛大に開催することができました。病院スタッフ一同、心より感謝申し上げます。



おいしい、楽しいイベントもありました♪



栄養クイズ、みそ汁の塩分比率にチャレンジ!



初めての医療機器操作にドキドキ☆



今年もおやまくまが駆けつけてくれました♡



小さな子も体験できるので好評でした◎大きくなったら薬剤師さんになるという心強い言葉ももらいました♪



30分という短い時間でしたが、みなさん熱心に聞いていかれました。ご協力くださいました医師会の先生方、ありがとうございました。



新任医師からのご挨拶

☆9月1日より3名の新しい先生方が着任されました☆

このたび、平成25年9月1日付で、新小山市市民病院耳鼻咽喉科に赴任致しました。医師となり9年目、耳鼻咽喉科医7年目にして、大学病院以外での常勤医師としての勤務は初めての経験となります。すでに3ヶ月が経過しますが、何よりも一個人の非力さを痛感します。

これまでは大学医局員の協力の中で診療を行ってききましたが、現在1人診療となり、人というものは、1+1が4にでも6にでもなれるものであると、今更ながら人が集まることの意義を再認識致しております。

新小山市市民病院では、新病院へ向けてのモチベーションや士気の高まりが病院全体に浸透しており、何か新しい力が息吹いている雰囲気を感じます。また、他科との連携もスムーズであり、たくさんの方々に助けられながら日々を過ごしております。まさに変革期にある病院のミッションに何かしら貢献できるよう尽力する所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

耳鼻咽喉科医長心得

川田 和己



外科医師

菅野 真之



この度、平成25年10月1日付けで、新小山市市民病院・外科に赴致しました 菅野 真之 と申します。

専門分野は消化器外科です。様々な症例を1つでも多く経験したいと考えております。

また、紹介して下さった先生、患者さんの要望に迅速にお応えできるよう、努力してまいりたいと思います。

何かと至らない点があるかとは思いますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

麻酔科医師

富田 温子



平成25年10月1日付けで、自治医科大学より新小山市市民病院・麻酔科にまいりました、富田温子と申します。

新小山市市民病院では、島田病院長の理念のもと、出来る限りの症例を、院内医師で協力し合い断わらずに対応していけるよう、地域に寄り添った医療の提供をめざし、時間帯によっては対応できないこともあるかとは思いますが、可能な限り緊急対応していきたいと思っております。

至らない点が多々あるかとは思いますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

お知らせ

平成25年12月より、『病院長外来』は毎週木曜日になりました。

新患受付時間は、8:30～11:00 までとなっております。

該当する患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介していただき、受診していただきますようお願い致します。

循環器内科外来 0285-21-3839

1月より、『整形外科外来』は、月曜・木曜（紹介・予約のみ）・金曜日になりました。

該当する患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介していただき、受診していただきますようお願い致します。

整形外科外来
0285-21-3847

1月から3月まで、『皮膚科外来』の金曜日は、第2・第4金曜日の診察になりました。

ご迷惑をおかけいたしますが、宜しくお願い致します。

皮膚科外来
0285-21-3845





診療科からのメッセージ

診療科紹介 神経内科

今回は新小山市民病院神経内科の現状についてご説明致します。現在、当科は川上忠孝（科長）、中村優子（医長）、直井為任（医員）、安藤綾子（医員）の4人での診療体制を築いています。中村と直井の両名は自治医科大学神経内科からの派遣ですが、安藤は時間短縮勤務での約半日勤務の常勤となっております。



川上副院長



中村医長

外来診療体制としては、毎日新患当番が1名午前中に診療を行い、それ以外にも再診を午前或いは午後に行っています。安藤は月・火・金の午前中に新患担当を行い、木曜は内科・総合診療科で新患の診察業務に従事していますが、時間短縮勤務の関係上、病棟業務には現在従事しておりません。これら外来担当枠の詳細につきましては、病院 Web ページ (<http://www.hospital-oyama.jp/>) に詳しく紹介してありますので、一度ご覧戴ければと存じます。

神経内科の診療範囲としては、入院部門では圧倒的に脳卒中、特に脳梗塞（ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓）の患者数が多くなっております。以前は脳出血患者の入院加療も行っていたが、今年4月から脳外科担当の宮脇先生が常勤として勤務されるようになり、くも膜下出血や脳出血、慢性硬膜下血腫などを脳外科で診療して戴いております。その他、神経内科としてはパーキンソン病の薬物調整やてんかん発作などの入院患者が比較的多くなっています。脳卒中、特に脳梗塞については、発症後4.5時間がt-PAによる治療のdeadlineとなっており、発症後速やかに受診して戴くことが肝要であります。

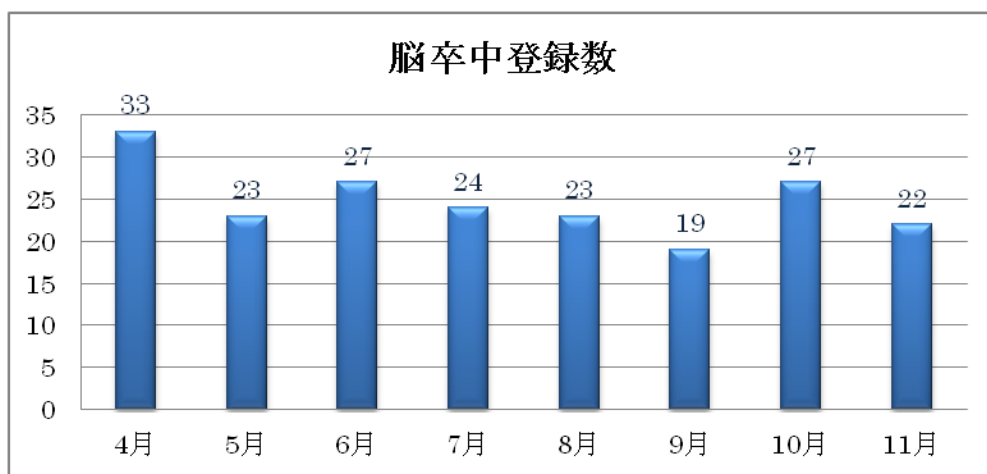
この1年間の脳卒中患者の入院数については、別表にまとめておりますのでご参照ください。



直井先生



安藤先生



一方、外来ではパーキンソン病及び関連疾患、認知症（アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症、脳血管性認知症、等々…）、ボトックス療法（眼瞼けいれん、片側顔面けいれん、痙性斜頸、四肢痙縮）の施行、等の診療を中心として行っております。脳梗塞後遺症に関しては、一部にはワルファリンコントロールなど当科外来でのfollowが望ましいケースもありますが、危険因子である高血圧・高脂血症・糖尿病等はかかりつけ医の先生方にしっかりと加療して戴くのが望ましいと考えます。『普段のfollowはかかりつけ医へ、入院が必要な時は当院へ』をモットーに、当院では全病院的にかかりつけ医の皆様への逆紹介を推進しておりますので、何卒ご理解とご協力の程を御願い致します。

最近急速に増加しつつある認知症に関しては、診断と経過観察に役立つと言われるDT-Naviという機器を先日導入致しました。認知症診断の中でADAS-Jcogという検査を行うためのツールであり、現在は安藤医師が週1枠で行っておりますが、ゆくゆくは施行回数を増やして行きたいと考えております。認知症診療でお困りの症例があれば、今後ともご紹介戴ければ幸いです。





新小山市市民病院での取り組み

地域連携医療機関情報コーナー



地域連携医療機関の情報カードを掲示するコーナーが完成しました。場所は、正面入り口を入ってすぐの、医事課の横（壁）です。

今回、地域連携協力施設として承諾をいただき、認定証をお届けした医療機関の情報カードを掲示するコーナーです。承諾をいただいた医療機関は、全部で 187、現在までに、約 60 の医療機関からカード作成に必要な情報が届き、カードを作成して掲示しています。

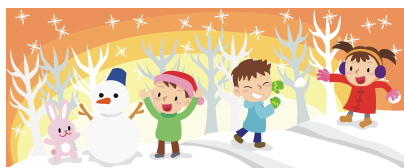
このコーナーを作った目的は、患者さんのかかりつけ医や逆紹介先の相談を受けた際に参考にすることです。



このカードは、当院に来られた患者さんやご家族の方に自由にお持ち帰りいただいています。

地区別にまとめて掲示していますが、予想以上に反応があり、毎日、色々な人がカードを持ち帰っています。まだ 1 / 3 程度の情報カードで、「もっとないの？」という声も聞かれています。

基本となる情報を、まだいただいていない医療機関の方は、是非、ご連絡をお待ちしています。



地域医療連携部医療連携相談室

下記 電話・FAX まで

医療連携相談室

（受付時間 平日 8:30 ~ 17:15）

医療連携に関する業務

- ①紹介患者さんに関する事務
- ②地域の医療機関からの紹介患者さんの診察や検査予約の受付
- ③地域医療機関訪問
- ④「小山市市民病院診療科案内」などの作成と発送

患者さん・御家族に関する相談業務

- ①適切な医療機関や福祉施設などの紹介
- ②在宅医療や訪問看護に向けての調整
- ③医療費などの経済的問題の相談
- ④介護保険や身体障害者手帳などの制度の紹介や利用の相談 など



医療連携室 TEL 0285-21-3849 医療相談室 TEL 0285-21-3865

FAX 0285-21-3896(連携室・相談室共通)

※メールでも受付しております。

医療連携相談室 renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

